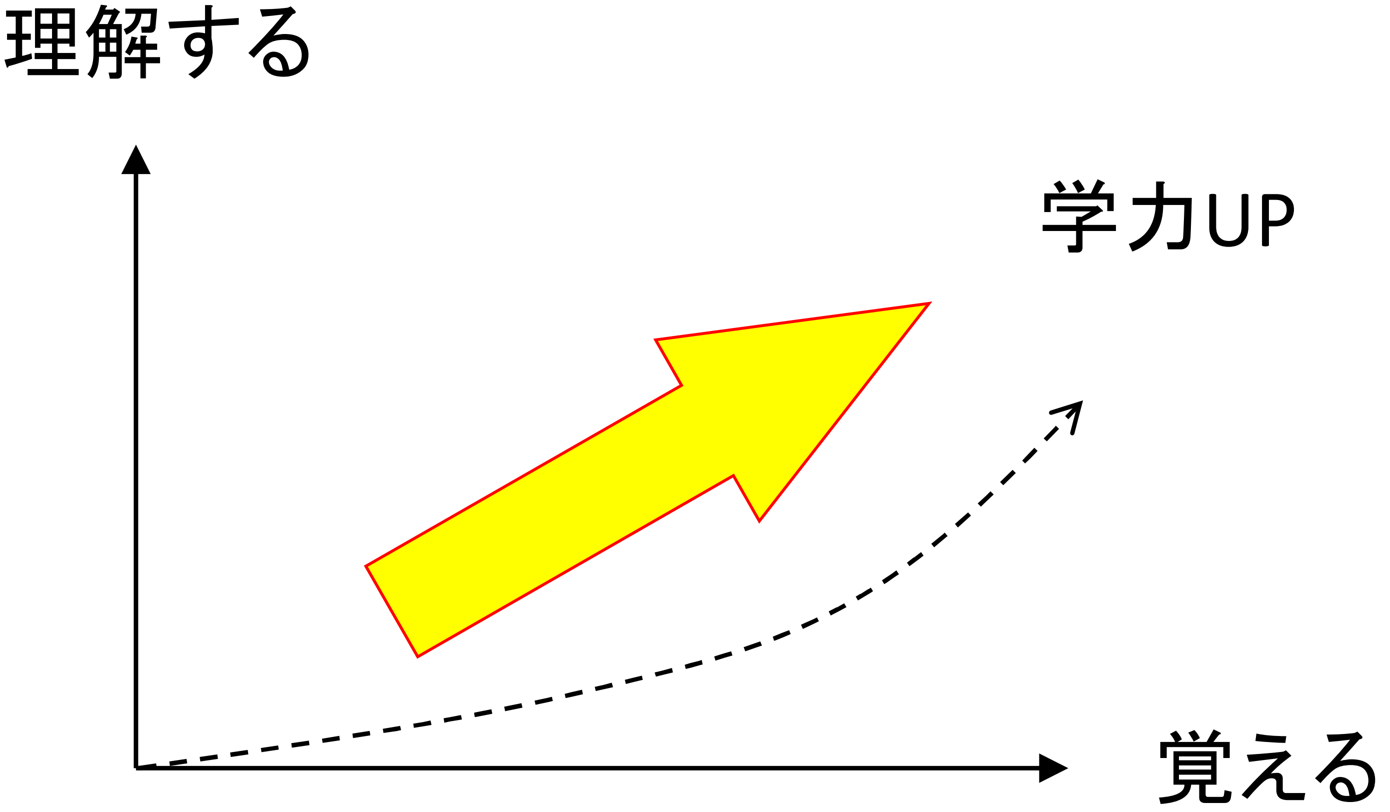
1．学習するとは？



学習する＝覚える＋理解する

学習は覚えただけでも、理解しただけでも使えない。

「覚える」と「理解する」を両方進むと学力がUPする。

２．覚えるとは（その１）

学習では多かれ少なかれ、覚えるという動作は避けて通れない。

＜日常的な「覚える」の例＞
・英単語テストに向けた暗記
・漢字テストに向けた暗記
・学校の行き返りの道順（日常）
・毎日乗る電車の時刻表（日常）

覚えるとは、「日常に組み込む」ということ。
特別なことが必要なわけではない。

２．覚えるとは（その２）

覚えると得点が伸びる科目・分野

・国語（漢字、古文、漢文　等）
・英語（英単語、構文　等）
・数学（公式）
・社会（地理、歴史　等）
・理科（公式、化学、生物　等）

これらは、覚えたものがそのまま回答につながる。
どこまで日常化させて普段の生活の一部としてしまえるかが、実力テスト時に効いてくる。

2. 覚えるとは(その3)

覚えるためには、覚える前の準備が必要

覚えるためのツールの例(見る、聴く、書くも使う)

方法	利点	欠点	評価
単語帳（自作）	自分にあったものが作れる	自作に時間がかかる	△
左右比較表（自作）	自分に合ったものが作れる	自作に時間がかかる	△
語呂あわせ	自分に合ったものが作れる	自作に時間がかかる	○
アプリ	タブレットで扱いやすい	自作すると時間がかかる	○
まとめ本	要点をまとめた本を購入すればすぐ始められる。チェックシート利用	本をしっかり選んで購入することが必要	○

自分にあった覚え方を生み出すとその後使える

３．理解するとは（その１）

再チャレンジ → 問題を解く → 正解 → OK！

問題を解く → 不正解 ↓

・何を、どう間違えたのか見直して理解する。

⇒これが本当の理解になる！！

・間違えには必ず原因がある。

- ・覚えてない
- ・計算ミス
- ・途中経過の転記ミス
- ・問題読み違い　　　　　等

３．理解するとは（その2）

＜間違いポイントを見直して理解する目的＞
同じ問題が出ることはほぼない。しかし、自分が間違えるポイントを知ることで、次回の間違いを防ぐ・減らすことが重要。

↓

敵を知り、己を知れば、百戦危うからず。
問題を知り、自分の弱みを知れば、どんなテストも困ることなく乗り越えられる。

↓

学習は自分との対話。自分がどこまで理解しているのか、何が足りていて、何が足りないのか。
足りないことの習得に時間をかける。